飛鳥資料館の秘蔵物(2)　漏刻模型 ―時を司る―

飛鳥資料館のロビーでは現在、漏刻模型を展示しています。漏刻とはサイフォンの原理を利用した水時計ですが、当館の模型は中国の故宮博物院に遺されている清代の漏刻を参考にしてつくっています。おそらく、飛鳥の水落遺跡にも四段式の似たような形状の漏刻があり、飛鳥や藤原の人々に時を知らせていたのでしょう。

しかし、当館のロビーで展示している漏刻模型は姿形を再現しているだけではありません。漏刻の人形が手にしている箭(や)(目盛りが付いた棒)をよく見ていただくと、少しずつ動いているのがおわかりになるかと思います。これは模型内で水を実際に循環させて、実際の速さの48倍にして漏刻の動きを一部再現しています。当時は、この箭の動きによって時間を計っていたのです。目盛りの動きは本当に小さなものですが、都の時を管理する上では大きな意味を持っていました。飛鳥時代の陰陽寮の漏刻博士たちも同じように、きっと少しずつ動く箭に目を凝らしながら時を計っていたことでしょう。飛鳥時代の時を司った漏刻を見ながら当時のお役人の気分に浸るのも一興かもしれません。　(飛鳥資料館　成田 聖)

開館時間：9：00～16：30(入館は16：00まで、月曜休館)　お問合せ：☎0744-54-3561(飛鳥資料館)

平城宮跡資料館の展示紹介　インフォメーションルーム「平城京周辺の写真地図」

資料館入口を入ってすぐのインフォメーションルームの床に、大きな写真地図(約1,700分の1)を展示しています。

これは、平城京の空中写真(2008年国土地理院撮影)に平城京の地割(条坊)を重ねたものです。写真画像は、2010年度に開催した国土地理院との合同主催企画展で使用した床展示がもとになっています。60枚におよぶ平城京のオルソ画像(空中写真に正確な位置情報を与え、ひずみのない画像に変換したもの)をつなぎ合わせています。

空から平城京域を見下ろすと、古代の地割や区画がよく残っていることがわかります。写真地図の上に乗って、じっくり観察してみてください。　(企画調整部　渡邉 淳子)

開館時間：9：00～16：30(入館は16：00まで、月曜休館)　お問合せ：☎0742-30-6753(連携推進課)

■　お知らせ

飛鳥資料館　写真展

2012年８月４日(土)～９月17日(月)

第２回写真コンテスト「遙かなる華の都」

飛鳥資料館　光の回廊

2012年９月15日(土)～16日(日)

特別公開講演会(東京会場)

「遺跡をさぐり、しらべ、いかす―奈文研60年の軌跡と展望」

2012年10月６日(土)

於：一橋大学　一橋講堂

日中韓国際講演会

「日中韓古代都城文化の潮流―奈文研60年都城の発掘と国際共同研究―」

2012年10月20日(土)

於：なら100年会館

■　記　録

文化財担当者研修

○庭園・自然名勝等保存活用基礎課程

2012年６月６日～12日　22名

○建築遺構調査過程

2012年６月18日～22日　12名

現地説明会

○平城第491次発掘調査(平城宮左京三条一坊一坪)

2012年６月23日　652名

飛鳥資料館　春期特別展

2012年４月14日～６月３日

「比羅夫が行く―飛鳥時代の武器と武具・いくさ―」

11,425名

平城宮跡資料館　春期企画展

2012年３月10日～５月27日

「発掘速報展 平城2011/文化財レスキュー展」

42,271名

■　最近の本

○諫早直人

『東北アジアにおける騎馬文化の考古学的研究』

雄山閣　2012年３月

編集　「奈文研ニュース」編集委員会
発行　奈良文化財研究所　http://www.nabunken.go.jp/
Ｅメール　jimu@nabunken.go.jp
発行年月　2012年6月